

視点の先の未来を見つめて

n-a-view

[ナビュー] Nichiha across the view

2017
SUMMER

VOL. 460

平成29年7月3日発行


CONTENTS

02 ● 使うことで守れるもの
～カーボンオフセットサイディング～

10 ● Fu-geのポイント

12 ● 新商品紹介

18 ● Topics & More



使うことで
守れるもの
～カーボンオフセット
サイディング～

ニチハのあたりまえが
世の中のあたりまえに。



合板工場の廃材。この有効活用を目的にハードボードは開発された

廃材の高度利用が
ハードボードへ

時代に合わせ
最高の製品へと進化

戦後、復興に向けて木材の需要は高まる一方で、戦時中の乱伐による森林資源の枯渇は、はなはだしく、木材の調達は困難な時代でした。工業振興による近代化の観点からも、廃材の高度利用にハードボードの生産が最適であると企業化を決定。それまで林業経営でかえりみられてこなかった間伐材や木材資源の有効利用を目的として、日本ハードボード工業株式会社が設立されました。名古屋工場において「ゴールデン」ブランドのハードボードとともにインシュレーションボードの生産設備を併設し、その製品化を図っていきました。住宅の外装材は、1960年ごろから普及していた合板下見より、優れた表面性と品揃えの豊富さが評価され、外装材「ゴールデンサイディング（ハードボード）」はサイディングの代名詞になるほど知名度が上がりました。

インシュレーション
ボード生産第1号
(9×18尺)



「ゴールデンサイディング」の施工例。この経験が、後の防火外装材「モエンサイディング」の開発、販売に大いに役立ったこととなりました。

ハードボードから
モエンサイディングへ

不燃化には煙！

建築基準法の改正により、外壁材にも不燃化が求められるようになりました。重要なカギとなったのは、当時、社員が建材使用に模索していた時に目にした、一枚の炭酸マグネシウム板。水酸化マグネシウムと炭酸ガスから製造した、強度のある炭酸マグネシウム板が防火外装材誕生の第一歩となりました。水酸化マグネシウムは購入で賄うも、炭酸ガスの調達方法のヒントは、見上げた工場の空にありました。ハードボードの製造ラインから吹き上がる煙から炭酸ガスを抽出し、原料に使うというアイデアが浮かびました。当時、四日市の公害問題もあり、中京地区の製造業者には排煙の処理が急務であったため、時代にマッチする形に。当時の資本金の2.5倍もの設備投資を行い、業界に先駆けた不燃材の完成に向けて邁進した2年間の試行錯誤の末、1974年日本で初めて、防火外装材「モエンサイディング」は誕生しました。



モエンサイディングの試作ライン

無石綿化をきっかけに
基材は進化の道筋をあゆむ

常に業界に先駆けた商品を開発してきたニチハ。当時、海外で石綿の危険性が指摘されたことを受けて、無石綿化を決断。国内で石綿を含む製品の製造・使用が禁止となったのは、2006年のこと。そのずっと昔、1981年から原料に石綿（アスベスト）を一切使用しない完全無石綿化を実施しました。無石綿化に成功した開発チームの次なる課題は、耐凍害性に優れた寒冷地域向け外装材の開発でした。「モエンサイディングW（硬質木片セメント板）」の開発に成功したこと、外装材は全国展開へ。さらに、造形性に優れた厚物高級外装材「モエンエクセラード」という新しい分野を切り開き、木質系材料を補強繊維とした乾式成型法により、耐凍害性、寸法安定性、成型性などに優れた基材を生み出しました。



モエンサイディングを使用した当時の施工例

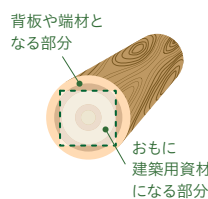


当時のモエンエクセラードの生産ライン

「捨てるものを捨てない。」が
製品を成熟。

地球温暖化対策に対する答え

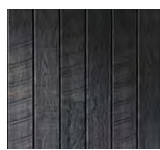
ハードボード、モエンサイディング、無石綿化。すべては時代に先駆けて行われ、その根底には無駄とされるもの、見捨てられているものをうまく活用し付加価値をあげるといふニチハの企業精神が宿っています。創業以来培ってきた木材資源の活用技術を生かし、原料に国産木材チップを使用した「オフセットサイディング」、国産木材の中でも間伐材に限定した外装材「カーボンオフセットサイディング」は、木が生長過程で吸収したCO₂を閉じ込める（固定化）効果が認められています。日本の森林資源を守り、地球温暖化防止に貢献する、それが、これからの環境共生時代にニチハが取り組む一つの答えです。



1 間伐材・国産材の端材を活用。



2 製材後の端材を木材チップにし、外装材の原料に。40年以上培ってきたニチハの独自技術です。



3 外装材として使用することで、木が吸収したCO₂の放出を防止（固定化）。



国産木材チップを活用した「張るだけで環境貢献」できる地球に優しいニチハだけが持つ外装材です。

張るだけで環境貢献
「ニチハのエコ外壁」

オフセットサイディングの最大の特長は、国産木材の利用促進とCO₂固定化。張るだけで環境貢献ができます。

公害問題と資源調達の2つの課題を解決。マイナスをプラスに転換



「モエンサイディング」は当時の業界では目新しい商品であり、施工業者さんは、その素材や施工方法に関する知識はあまりありませんでした。そこで施工主さんや施工業者さんにより早く効果的に「モエンサイディング」を理解してもらうため、実際の施工例を数多くみてもらうことを考え、1975年6月、業界に先駆け「モエン施工写真コンテスト」を実施しました。

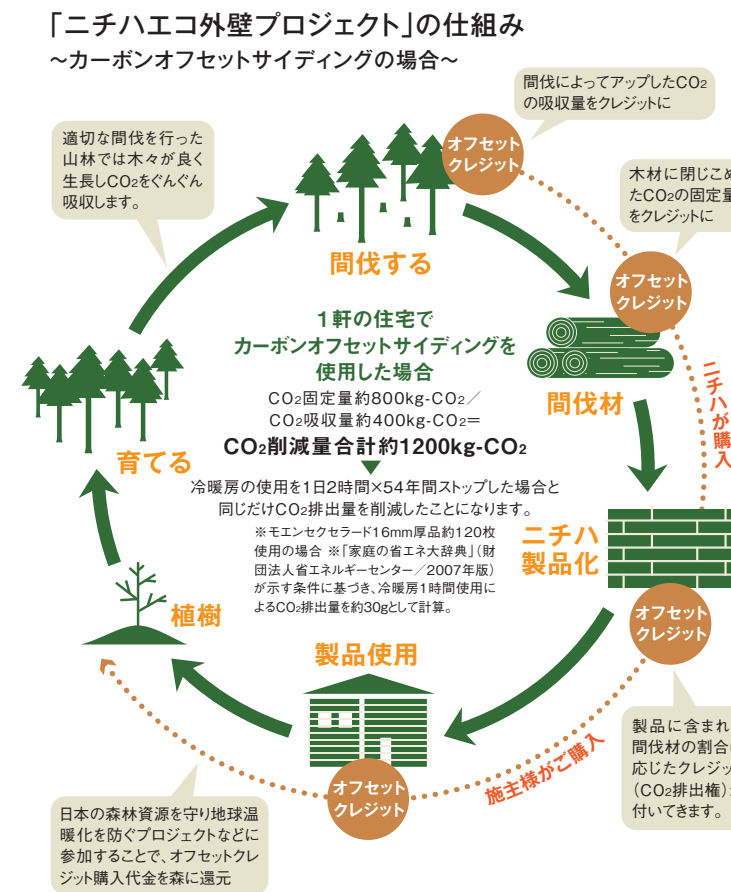
地球温暖化対策のひとつの取り組みとして。

ニッポンの森を守り、育てる。 ニチハエコ外壁プロジェクト。



木を使うほど森が育つ。人の手を入れ森の木の木を計画的に間伐し、木に日光を行き渡らせることで森を大きく育てます。深く根を張り大きく育った木はCO₂の吸収量が増え地盤が強くなり、土砂災害を防ぐことにもつながり、森林の育成に大きく貢献します。

ニチハの「カーボンオフセットサイディング」に使われる木材チップは、100%オフセットクレジット(CO₂排出権付き)の国産間伐材ですから、購入代金が森を育てる活動に還元されます。つまり、選ぶ人が増えるほど、CO₂削減と森林の育成に貢献できるということです。



ニチハの取り組みが高い評価を得る。



製造時のCO₂排出量を削減



ニチハいわき工場 LNG サテライト基地

- ・クリーンエネルギー「液化天然ガス(LNG)」への燃料転換
- ・2010年度、年間約7,500トンのCO₂排出削減を達成(国内最大級)
- ・J-クレジット制度(旧国内クレジット制度)※の事業承認を取得
- ・2009年以降、年間約900トンのCO₂排出削減を達成

G7伊勢志摩サミットのカーボン・オフセットへ協力
自社保有クレジットを提供しました。

昨年(2016年)5月に開催されたG7伊勢志摩サミットにおいて、日本政府は国内の企業や自治体と協力し、カーボン・オフセットを実施。気候変動対策への姿勢を国際的に示し、国内の地球温暖化対策に対する理解と協力への機運を高めました。ニチハは、1,000t-CO₂の自社保有クレジットを提供し、この取り組みに協力しました。これは、外壁材製造時のCO₂排出量の削減により創出したクレジットで、ニチハでは製造時に年間約8,000t-CO₂以上のCO₂削減を達成、同時に製品原料に国産木材を使用することで年間約20万t-CO₂の固定も行っています。

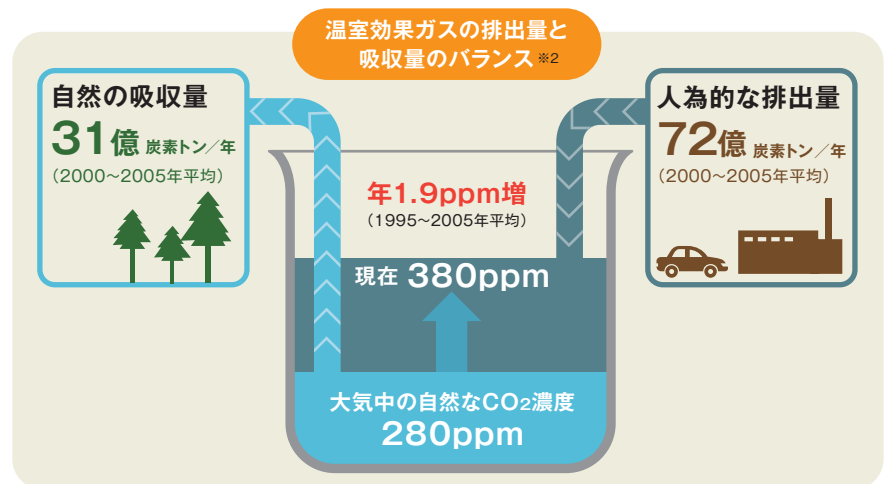
地球温暖化対策におけるカーボン・オフセットの重要性は2014年3月に策定された「わが国におけるカーボン・オフセットのあり方について(指針)第2版」(環境省)の中でも指摘されており、気候変動の分野において、パリ協定に基づく新しい国際的枠組みがスタートする2020年を見据え、今後、ニチハではカーボン・オフセットの取り組みを推進してまいります。



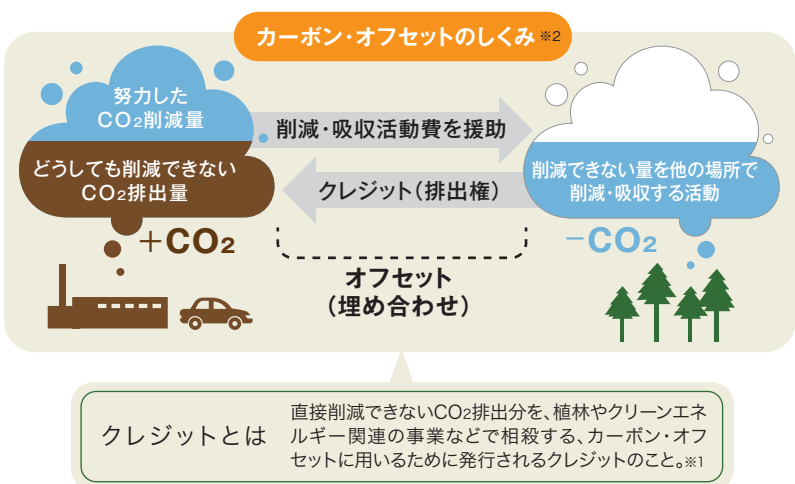
ニチハマテックス 習志野工場 高効率ガスボイラ

- ・環境にやさしい「都市ガス13A」への燃料転換
- ・業界初のJ-クレジット制度(旧国内クレジット制度)※の事業承認を取得
- ・2009年以降、年間約900トンのCO₂排出削減を達成

※ J-クレジット制度 / 省エネルギー機器の導入や森林経営などの取り組みによるCO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として、国が認証する制度です。本制度は、国内クレジット制度とJ-VER制度が統合した制度で、国により運営されています。



※2 「カーボンオフセットフォーラム」(環境省) (env.go.jp)を加工して作成



※1 オフセットクレジット(J-VER)制度 <http://www.j-ver.go.jp>を加工して作成
※2 「カーボンオフセットフォーラム」(環境省) (env.go.jp)を加工して作成

カーボン・オフセットって何？

温室効果ガスの排出量のうち、どうしても削減できない量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせしオフセットすること。例えば商品の製造・使用にともなう排出量に見合ったクレジットを調達し、温室効果ガスがオフセットされた商品として提供します。このような取り組みは地球温暖化対策に貢献する手段のひとつとして注目されています。 ※2

七ヶ宿町が 取り組む 町の創生。



カーボン・オフセット証明書。オフセット量
32,000kg-CO₂。クレジット(CO₂排出権)
は間伐材事業とニチハ㈱いわき工場の
燃料転換によるプロジェクトにより創出。

「カーボン・オフセット証明書」贈呈式の
模様。右：七ヶ宿町 小関幸一町長。
左：ニチハ㈱取締役兼執行役員 調査
部長 吉田康則。「この証明書はCO₂をど
れだけ固定・吸収・削減したかという数値を
見える化して、環境貢献を実感してい
たことをコンセプトとしています。今回、
古河林業さんとコンソーシアムを組んで取
り組んだのは、カーボンオフセットを推進
していきましょうというメッセージでもあ
るんです」と吉田取締役。

宮城県最西南端に位置し、南は福島県、西は山形県に接する南蔵王の麓の町、宮城県七ヶ宿町(しちかしゅく)。江戸時代、奥州と羽州を結ぶ道が「山中七ヶ宿街道」と称され、7つの宿場があったことが町名の由来となっている。

町の9割が山林の豊かな自然と、清流に恵まれ、宮城県民約180万人のみずがめ、七ヶ宿ダムがある水源の町です。

七ヶ宿町では2年前より、地方創生戦略の一環として「地域担い手づくり支援住宅」を整備。若者世帯の定住化を促進し、地域コミュニティの維持による地域活性化を目的に、町外からの移住者を迎え入れています。

その住宅(3号棟・4号棟)の外壁材に、100%オフセットクレジット(CO₂排出権)付きの国産間伐材の木材チップを原料としたニチハのカーボンオフセットサイディングが採用され、この度、「カーボン・オフセット証明書」の贈呈が行われました。

地域活性化を目的とした 新たな取り組み

「地方自治を取り巻く環境は極めて厳しい状況にありまして、私が町長を引き受けた平成26年秋ころは、人口が確か1543名だったんですが、今は1483名。約2年半で60名近く減っているんですね。当然、高齢化が進んでいる町ですから自然減はありますが、自然増の可能性はかなり低い。人口はどんどん減っていきます」。お話しくださったのは、町長の小関幸一氏。七ヶ宿町には高等教育までは整っていないものの、その先の進路となると町外へ出てしまうため、他の地方に違わず、若い世代の流出は避けられない現状にあるといわれています。



地域担い手づくり支援住宅3号棟。使用外壁は、マイスターウッド調VイデアルMGチャコール。地域の方が面接官となり、地域住民によって入居者が決まります。

「自然の中に住んでいると『これはいらぬかな?』と思うものが、都会の方にとっては価値がある場合も。それはこの町の中にもいると気づかないので、外の方々に七ヶ宿を見ていただいて、『これ、いいんじゃない?』というものを見つけていくことが大事かなと思います」と小関町長。



人口減のスピードを 緩やかにする形を 整えたいと思っています。

「昔からの住民どうしの結びつきもあり、他所から来た方との交流に疎い面もある地方独特の傾向はありますが、もうそんなことは言っていられない。七ヶ宿から出ていきたい人を追うより、七ヶ宿にきたい人を入れて構成していくかなと、ひとつの自治体として運営が難しくなっています。こんな言い方をすると失礼ですが、良質な町民を迎えようと、色々取り組んでいます」(小関町長)

その取り組みの一つが「地域担い手づくり支援住宅」。町外在住で40歳未満の義務教育終了までのお子さんを待つ夫婦を対象としており、20年住み続ければ無償で土地と住宅が譲渡されるというもの。4年計画で毎年2棟の建築が予定されています。

「この事業に毎年5000万円の予算を組んでいます。2年経過した今、4棟に4世帯13名の方がお住まいです。その内、子どもさんも6名いらっしゃいます。仙台市周

辺の地域から移住してこられた。子育て支援対策として、保育料は無料、学校の給食費は町が全額負担しています。18歳まで医療費も無料です。第三子から出していたお祝いも、第一子から出すことにしましたので、第一子、総額30万円、第二子50万円、第三子以降は70万円を出産時、小中高それぞれの入学時の4回に分けてお渡ししています。少なくとも15年はないと全額受け取れませんが、15年の歳月を経て、町民としてコミュニティに参加して、自分の意見を言える人が出てくることも期待しています。中には町を引っ張っていくという人が出てくるかもしれない。こうした施策を通して、人口減のスピードを緩やかにする形を整えたいと思っています。やはり無理をせずに続けていける政策を考えるべきですから」(小関町長)

三位一体となって 国産材利用の価値を共有する

「地域担い手づくり支援住宅」3・4号棟は入札を経て、古河林業㈱様が請け負い、平成28年の暮れに竣工しました。古河林業様は国土の1/6000に相当する自社林を宮城県、秋田県、三重県に保有。自社林で育て



古河林業㈱ 統括管理部 部長 西川義寛氏。「今後の展望としては、林業所のあるここ七ヶ宿町で企業研修ができないかなと考えています」と西川部長。

た100%国産構造材を柱、梁、土台ほか、合板までも国産材を使用した家づくりにこだわり、独自の取り組みである「大黒柱選定ツアー」は2015年のウッドデザイン賞を受賞されています。「大黒柱選定ツアーは、弊社の七ヶ宿林業所で行っています。実際に森の中を歩き、広大な土地に力強く立つ杉の太木の中から、オーナーさまご自身により、「我が家の大黒柱」を選んで木を伐つてもらいます。私の家にも大黒柱があるのですが、家族の思い出が家の真ん中にあるのはいいものなんです」。お話しくださったのは、古河林業㈱ 統括管理部 部長 西川義寛氏。「なによりこの支援住宅は100%国産材チップが



地域担い手づくり支援住宅4号棟。木造2階建て、間取り4LDK。家賃は月額35,000円。使用外壁は、ヴェレウォール調VオーグMGブラウンとマイスターウッド調VイデアルMGボルドー。



4/21にオープンした「ファミリーマート+COOP七ヶ宿店」。このミニスーパーを核に賑わい拠点施設(なないろひろば)として、コインランドリー、ガソリンスタンド、多目的交流施設、入浴施設、町営住宅などが今後3年間に整備される予定。外壁に、ニチハのキャストウッド ミディアムブラウンMGが採用されています。



「まちづくり株式会社」を役場と同規模の組織として育て、町の創生につなげていきたい。

と思います。ですから今がチャンスだとも思っています。国会でも伐期を迎えた杉は積極的に伐り、価値が出る形で販売し、その跡地に植林していくことを考えるべきという意見が出ていくようです。特に林業の活性化は本町にとって大きな課題です。これを活用しなければ大きな雇用は生まれないと考えています(小関町長)

七ヶ宿町の林家数は271戸。80歳前後の組合員が多く、高齢化率の上昇が問題に。長引く木材価格の低迷により、後継者となる若年世代の林業に対する関心や意欲は薄い。「2・3ヘクタールを最低限の単位として、伐採、植林をするなり管理のできる仕組みを作っていけば山が循環して楽しみが増えるのではないかと考えています。国の考える政策とマッチさせながら考えていきたいですね。その上で、貴重な山の資源をどのように活用して町づくりに取り入れていくか、自治体としてのさまざまな役目があると思っております(小関町長)

「住み心地100点」をテーマに推進する町の創生

七ヶ宿町では、今年3月、宮城県で3番目の規模となる14キロメガバイトの太陽光発電のため、シャープに20年契約で遊休用地を貸し付けたメガソーラー事業を実施しており、税収や売電収入の一部を町の振興に役立てる仕組みづくりに取り組んでいます。また今年4月、七ヶ宿町と(株)ファミリーマート、みやぎ生活協同組合が地域の活性化と地域住民のサービス向上について定めた「安心して暮らせる地域づくり」の包括連携協定に基づき、ミニスーパー「ファミリーマート+COOP七ヶ宿店」をオープン。この一体型店舗は県内1号店で、全国でも数少ない試み。コンビニエンスストアの品揃えに加え、生鮮三品(肉・魚・野菜)などのコープ商品が販売されます。町は出店の支援、用地と店舗整備を行うほか、町営バスの停留所を店舗駐車場に設置する予定です。店舗外壁には、ニチハのオフセットサイディング、木目意匠が美しい人気のキャストウッドが採用されています。

「店舗の運営は業者の方に公設民営で行ってもらいますが、全体の管理については『まちづくり株式会社』を

通して色々な準備や連携をしていきました。町には第三セクターが3つほど、指定管理に出しているものが2つ、全部で5つの事業所に5人〜10人ほど雇用しているのですが、最終的にはそれを一つにして『まちづくり株式会社』もしくは公社にして、役場と同じくらいの人数で経営していく形をとりたいと思っています。30人ほどがここで活動すれば役場もうかうかしていらなくなりますが、職員が「なんでこんなことがわからないの?」と言われるような環境になるのが理想的ですね。今はそれぞれの部署が委託という形で受けて頑張っているのですが、それだとビジネスとして成り立っていないかと思うんです。対等な形で言い分を話し合うような関係になればいいですね。その仕組みを作ることのできる考えの切磋琢磨する関係ができるかなと。そうすれば、役場にもその企業にも若い方が入ってきやすいと思いますし、町の創生につながるものと考えています(小関町長)

今後、古河林業(株)とニチハは、両社の取り組みを活かし、カーボン・オフセットを通して七ヶ宿町の『ふるさと創生総合戦略』施策の一助となる、森林再生による新事業の創出へと発展させていく計画を推進していきます。



古河林業(株)七ヶ宿林業所所長 小山真光氏。小山氏が「大黒柱選定ツアー」の案内人を務めます。



古河林業(株)様主催の「大黒柱選定ツアー」。2015年ウッドデザイン賞受賞(ソーシャルデザイン部門 コミュニケーション分野)。



使用された、カーボン・オフセットのできるニチハさんの外壁材である点において、とても意義のある住宅になっていきます。住宅躯体に使用している国産材のCO₂固定量が約15トン・CO₂なので、ニチハさんの外壁材のCO₂削減量と合計すると、一棟約30トン・CO₂の環境貢献となります。住まわれる方にもCO₂の削減量が数値として見え、環境貢献を実感していただければ。両社の取り組みによって、都会に住んでいると気づかない、例えば木がCO₂を吸収するとか、カーボン・オフセットの仕組みなどを森に来て、見て触れて知っていたく機会になればいいなと。林業に興味をもっていただければ、さらにその林業をやっている七ヶ宿はどういう町なのかを知るきっかけになるという流れができれば面白いなと思っております(西川義寛氏)

「たまたま古河林業さんと同時期にウッドデザイン賞を受賞しまして、そこから何かできないかという話になったんです。我々のベクトルは一緒ですか



コンソーシアムで林業の活力向上を目指す

「環境に配慮しながら建築資材を作る」というのは世の中が求めていることを先取りするものですから、今後ど

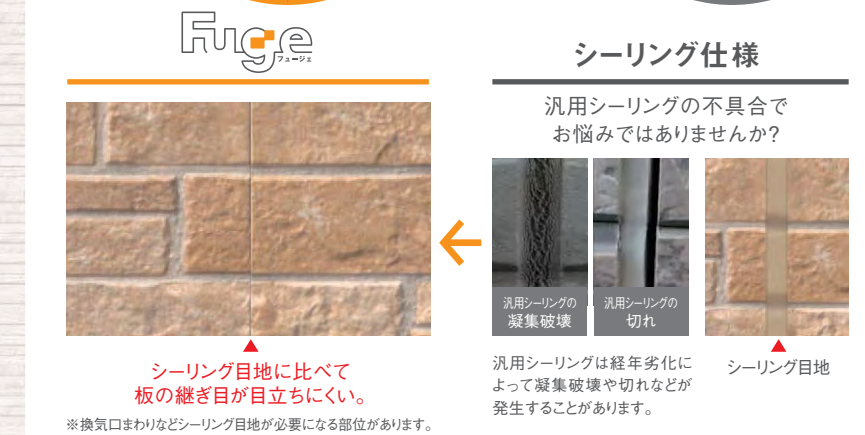
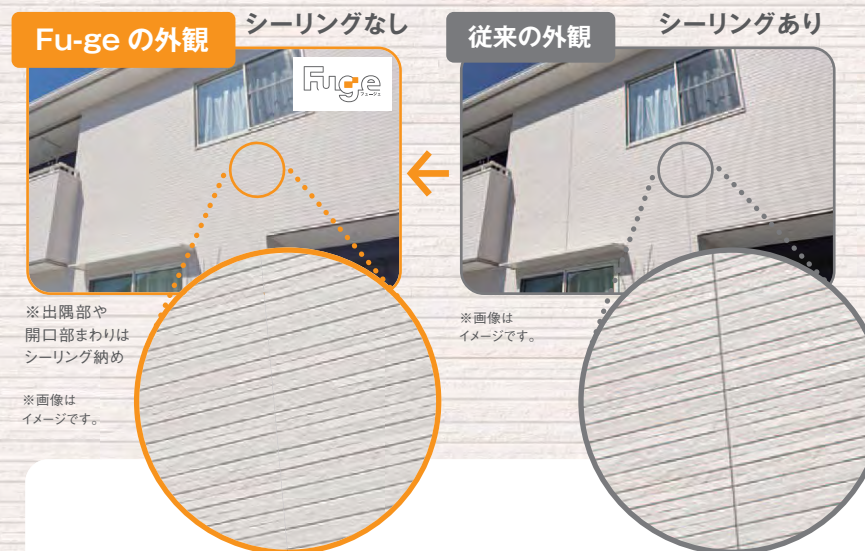
ら、同じ目的であるカーボン・オフセットができるといいなと。この支援住宅は栄えある第一号です」と弊社吉田取締役。「地域担い手づくり支援住宅3・4号棟に使用されたカーボン・オフセットサイディングの使用量は一棟、約220㎡。およそ一棟、1.6トン・CO₂の削減量となります。これは、製品内部の木材に含まれるCO₂の固定量と森林側で増加する吸収量を、CO₂削減量として見える化したものです。森林組合から調達したクレジット(CO₂排出権)を製品と一緒に購入することで、入居者さまは森林を守る活動に参画することができます。ニチハ保有のクレジットを一棟につき、14.4トン・CO₂提供しているの、合計すると一棟、16トン・CO₂の削減量になります。一世帯あたりのCO₂排出量を年間4トン・CO₂として換算すると、入居者さまは、生活の中で排出する4年間分のCO₂をオフセット(相殺)できることとなります(吉田取締役)



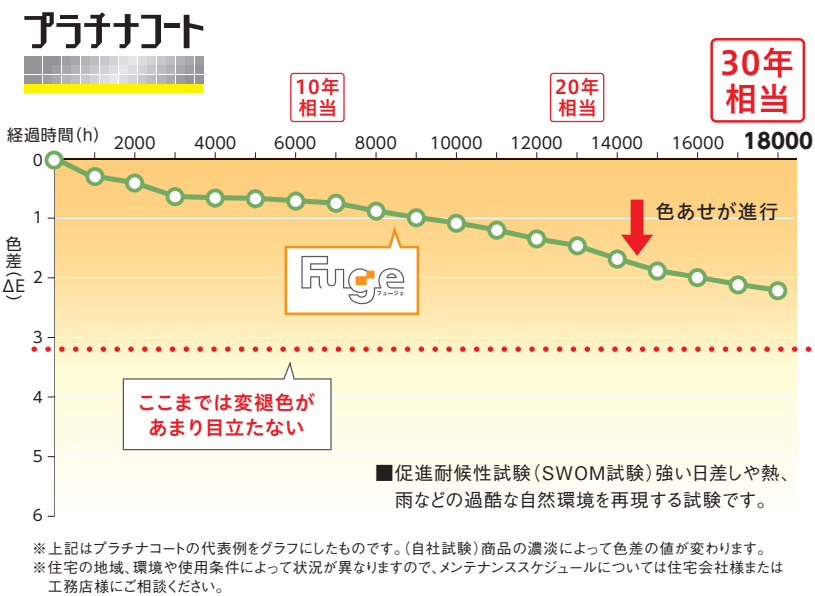
んどん発展していくのではないかとあります。『この住宅、この外壁に七ヶ宿の木が使われています』となればいいです。皆さんが何を求めているのか、七ヶ宿でそれができるのか、コストはどれぐらいなのか。そうしたことを考慮すれば連携できる部分はたくさん出てくるのかもしれませんが。現状の森林組合は、最初からこのぐらいの利益があるということが分かっている事業に対しては得意ですが、千になるか万になるか分からないようなものは得意ではない。企業との結びつきも含めて、それほど積極的な取り組みがなかったのは事実だと思います。宮城県では松喰い虫が増えてしまっって、良い赤松が残っているのは七ヶ宿だけではないか



メンテナンスコストで大きく差をつける外壁材「フュージエ」
ここがポイント!
 フュージエならスッキリ美しい壁面に仕上がります。メンテナンスコストを大幅に削減! キレイが長続きする新しい外壁材です。



フュージエはすごい!
 シーリング目地比べて継ぎ目が目立ちにくい!
 外壁どうしの継ぎ目にシーリング目地が入らないため、一体感のあるフラットな壁面を演出できます。シーリングの黒ずみ汚れやシーリング切れの心配もありません。



超耐候「プラチナコート」がメンテナンスにかかる再塗装費用を減らします!
 フュージエは従来の塗料をさらに進化させた超耐候塗料を採用。10年から15年ごとに必要であった再塗装工事の期間を大幅に延ばすことが可能となりました。しかも、セルフクリーニング機能付だから、キレイがずっと続きます!

フュージエはうれしい!
 色あせに強い
 プラチナコート

超耐候なワケ!

分子結合力が紫外線より強い!

プラチナコートは分子に435kJ/molの結合エネルギーを持つSi-O結合を含みます。Si-O結合は紫外線エネルギーの410kJ/molを上回る安定した結合力を持つため、外壁材をしっかりガードすることができます。



独自の厳しい試験基準をクリア!

プラチナコートは、強い日射しや熱・雨などの過酷な自然環境を再現するサンシャインウェザーメーター試験で、18,000時間をクリア。色あせ・日焼けに強い超耐候性を実現し、長期間にわたって美しい外観を維持します。

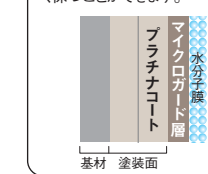


マイクロガードによる効果
マイクロガード
 外壁の汚れを落とすのに使えます

※「マイクロガード」は株式会社LIXILの登録商標です。

プラチナコート&マイクロガードがダブルできれい!

プラチナコートによる超耐候性とマイクロガードによる「セルフクリーニング機能」を組み合わせれば、長期間の防汚性を確保させ、家の美しさをさらに長く保つことができます。

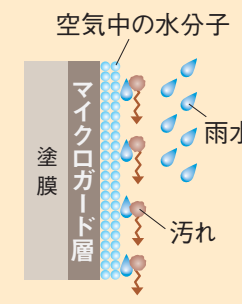


マイクロガード品 従来の塗装品



空気中の水分子で膜を形成

シリカ粒子が空気中の水分子を吸着し、外壁表面に薄い水分子膜を作ります。付着した汚れの下を雨水が通り、汚れと一緒に流れ落ちます。



さらに美しさ持続! 雨水で汚れを洗い落とす

セルフクリーニング機能
 建てたときが一番きれいという認識の住まい。二子ハのマイクロガードは、雨で汚れを洗い落とす「セルフクリーニング機能」で家の美しさを持続させます。

一般戸建住宅でのメンテナンスコスト



一般的な塗装品※2
 (金具施工品・汎用シーリング納め)

| メンテナンス項目 | 10年前後メンテナンス | 20年前後メンテナンス |
|-----------|---------------|---------------|
| 点検・部分補修 | 約0万円※1 | 約0万円※1 |
| シーリング打替 | 約30万円 | 約30万円 |
| 再塗装 | 約60万円 | 約60万円 |
| 仮設足場 | 約35万円 | 約35万円 |
| 合計 | 約125万円 | 約125万円 |

※1 必要に応じて住宅会社様、工務店様へご相談ください。
 ※2 一般的な塗装品:10年サイクルを目安にメンテナンスを推奨している製品

フュージエはとっても!
 長い目で見れば断然おトクです!
 フュージエは超耐候「プラチナコート」の採用でロングメンテナンス化を実現。再塗装費用、シーリング打ち替え費用、足場費用など、従来の外壁材にかかるメンテナンスコストを大幅に圧縮しました。

メンテナンスコストで約250万円の差が!?

【メンテナンスについてのご注意】

●メンテナンススケジュール・メンテナンスコストは、日常点検・定期点検の実施、弊社標準施工の遵守、プラチナシールを含む弊社純正部材を使用した場合のモデルプランの一例です。住宅の地域、環境や使用条件によって状況が異なりますので、メンテナンス計画を立てる目安としてご利用ください。●同質出隅の張り合わせ角部・傷補修部分・釘頭のタッチアップなどの補修塗料使用箇所、釘頭の塗膜、銅板部材は、外壁材表面と完全に同一ではありませんので、本モデルプランは適用されません。●日常点検・定期点検において、外壁材本体に部分的な亀裂(クラック)、欠け、こすれ傷、汚れなどの傷みが見られた場合は、パテ埋め補修や部分的な張り替え、塗装補修などを行ってください。また、シーリングに部分的な目地ずれ、はく離、亀裂、汚れなどの傷みが見られた場合は、部分補修や洗浄などを行ってください。適切な時期に適切なメンテナンスをせず放置すると、外壁材のみならず建物全体に不具合が発生することがあります。また、地震や台風などの後にも点検を行ってください。●外壁材の塗り替えは、一般的なアクリルシリコン塗料を使用した場合を想定しています。表面の劣化状況によっては、クリアー塗装ではなく、エナメル塗装になることもあり、その場合は、単色仕上げとなります。またクリアー塗装が可能な場合でも、塗膜の劣化が進んでいた場合、新築時の色と異なることがあります。●工事費用・メンテナンス費用は「積算資料ポケット版リフォーム2017」を参考に算出した試算金額(税抜)です。日常点検・部分補修費用などは含まれておりません。参考値であり、実際のメンテナンス費用については住宅会社様または工務店様にご相談ください。●メンテナンススケジュール・メンテナンスコストは、時期および内容を保証するものではありません。



ソラニティー

サイズ: 16×455×1,820mm
 4,800円/枚(税抜)
 5,796円/㎡(税抜)

特徴的な凹凸のテクスチャーと
 大小のタイルを、
 変化を与えつつも整然と並べることで
 個性的で安定感がある壁面を演出します。



ソラニティーオレンジE イメージ



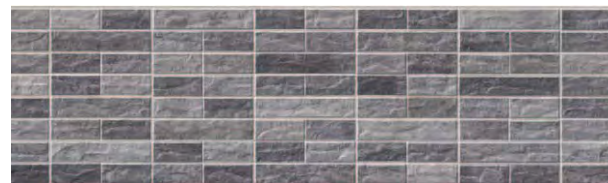
EFF2321E ソラニティーホワイトE



EFF2322E ソラニティーオレンジE



EFF2323E ソラニティーブラウンE



EFF2324E ソラニティーダークグレーE

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認願います。



リヴコロール

サイズ: 16×455×1,820mm
 4,800円/枚(税抜)
 5,796円/㎡(税抜)

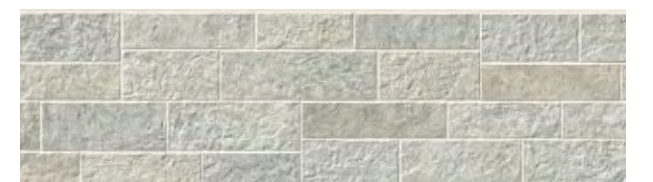
石肌の素材感と、
 大きな割りを活かした落ち着きのある
 上品な色調と表情が、高級感のある
 モダンな外観に仕上げます。



リヴグレーE イメージ



EFF2221E リヴホワイトE



EFF2222E リヴアッシュE



EFF2223E リヴイエローE



EFF2224E リヴグレーE

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認願います。



メンテナンスコストで
大きく差をつける
家づくりのニーズに応える耐久性と
ロングメンテナンスを実現した外装材。

Fuge
フュージェ



CM動画は、
ホームページにて公開中!



Show room

住宅外装に関する商品を豊富に展示している
ニチハのショールーム。
実際に見たり、手でふれたりしながら、
デザインや色調、質感などを
ご確認ください。



札幌ショールーム

札幌市東区北42条東15丁目1番1号
(栄町ビル1階)
TEL(011)753-7775 FAX(011)753-6660

仙台ショールーム

仙台市太白区越路28番8号
TEL(022)395-6778 FAX(022)265-8588

東京ショールーム

東京都中央区日本橋一丁目15番1号
(パークビル1F)
TEL(03)3548-0191 FAX(03)3548-0202

本社(名古屋)ショールーム

名古屋市中区錦二丁目18番19号
(三井住友銀行名古屋ビル1F)
TEL(052)220-5113 FAX(052)220-5160

大阪ショールーム

大阪市西区南堀江一丁目4番19号
(なんばスミソウビル1F)
TEL(06)6532-2265 FAX(06)6532-2275

広島ショールーム

広島市南区京橋町1番23号
(三井生命広島駅前ビル1F)
TEL(082)568-7608 FAX(082)568-7609

福岡ショールーム

福岡市博多区博多駅前四丁目2番1号
(ザイマックス博多駅前ビル1F)
TEL(092)436-8099 FAX(092)436-8087

鹿児島ショールーム

鹿児島市与次郎二丁目4番35号
(KSC鴨池ビル1F)
TEL(099)813-4118 FAX(099)813-4128

開館時間/AM10:00~PM5:00 休館日/毎週水曜日(広島ショールームのみ毎週水・木曜日)・5月GW・夏期休暇・年末年始

詳細につきましては、最寄りの各ショールームまでお問い合わせください。(特に、営業日、営業時間につきましては、必ずご確認ください。)

モダンセラド16
Fuge GOOD DESIGN OS

シュマール

サイズ: 16×455×1,820mm
4,800円/枚(税抜)
5,796円/㎡(税抜)

人気の細割りボーダータイル柄。
柔らかなテクスチャーと変化のある
ピース幅で動きと立体感を表現。
ベース柄からアクセント柄まで
幅広くお使いいただけます。



シュマールベージュE イメージ



EFF2421E シュマールベージュE



EFF2422E シュマールアイボリーE



EFF2423E シュマールブラウンE



EFF2424E シュマールグレーE

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認ください。

COOL



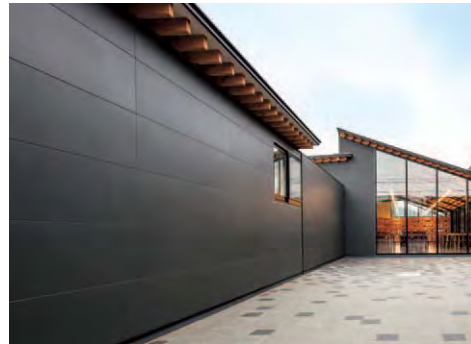
メモリア

サイズ: 16×455×1,820mm
 6,500円/枚(税抜) 7,849円/㎡(税抜)
 新色(P16)・ホワイト(ETM301F)は
 7,000円/枚(税抜) 8,453円/㎡(税抜)

マット肌20色
 (ヴィヴィッド
 カラー5色)



“Memory” (記憶)に深く刻まれる色。



※カラーラインナップをバレットで表現しています。
 実際のサイズや施工とは異なります。



ミライア

サイズ: 16×455×1,820mm
 17,000円/枚(税抜)
 20,529円/㎡(税抜)

鏡面16色

未来を映す“Mirror” (鏡)の輝き。



※カラーラインナップをバレットで表現しています。
 実際のサイズや施工とは異なります。

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認ください。

COOL



メモリア New Color

サイズ: 16×455×1,820mm
 7,000円/枚(税抜)
 8,453円/㎡(税抜)

人々の“Memory” (記憶)に残る
 印象的な壁。



カラーロレッド/カラーロイエロー/カラーログリーン/カラーロブルー/カラーロエメラルド イメージ



EFM201F カラーロレッド



EFM202Y カラーロイエロー



EFM203F カラーログリーン



EFM204F カラーロブルー



EFM205F カラーロエメラルド

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認ください。

NICHIHA SIDING AWARD 2017 開催中

本年もNICHIHA SIDING AWARD 2017を開催いたします。

審査委員長に建築家の難波和彦氏、
新たな審査員として

インテリアデザイナーの飯島直樹氏をお迎えし、
ニチハ製品をご採用いただいた作品を
審査いただきます。

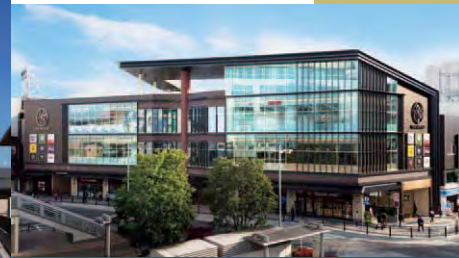
難波和彦

建築家・東京大学名誉教授。放送大学客員教授。1977年一級建築士事務所(株)界工作舎を設立。代表作に「箱の家」シリーズがあり、標準化・多様化・サステナビリティをコンセプトに掲げた都市型住宅のプロトタイプとしてデザイン・開発を手がける。グッドインテリアデザイン賞、新建築吉岡賞、住宅建築賞、JIA環境建築賞、建築学会賞業績賞など多数受賞。



飯島直樹

インテリアデザイナー。1985年飯島直樹デザイン室を設立。2011年から2016年工学院大学建築学部教授。JCDデザイン賞、APIDA(香港)賞などを多数受賞。5Sニューヨーク、blupondソウル、PMOオフィスビルプロジェクト、工学院大学ラーニングコモンズ新宿・八王子などインテリアから環境全般のデザインまで幅広く活躍。



下記の応募要項で、建設会社様、設計事務所様、リフォーム会社様等の
専門家向けとして実施いたします。

対象作品 弊社商品(金属製外装材含む)を外装あるいは内装に使用し、2016年8月以降に
新築またはリフォームされた建築物。

締切日 2017年8月10日(木) ※当日消印有効

審査基準 ニチハ標準施工で商品の柄や特性をうまく活かし、建て主様の意向に沿い、時流に
合った外観デザインであること。また、周囲との調和や外構デザインにも配慮されて
いる作品であるかについて、施工写真や設計要旨から判断のうえ審査します。

賞品 各受賞作品において、以下のとおり賞品を贈呈いたします。

| | | | | |
|--------|---------------|------|---------------|----------------------|
| グランプリ | 住宅部門・非住宅部門各1点 | 合計2点 | 30万円(旅行クーポン券) | 別途、建て主様に5万円(旅行クーポン券) |
| プラチナ賞 | 住宅部門・非住宅部門各1点 | 合計2点 | 10万円(旅行クーポン券) | 別途、建て主様に3万円(旅行クーポン券) |
| ゴールド賞 | 住宅部門・非住宅部門各1点 | 合計2点 | 5万円(旅行クーポン券) | 別途、建て主様に2万円(旅行クーポン券) |
| 入賞 | | 10点 | 3万円(旅行クーポン券) | 別途、建て主様に1万円(旅行クーポン券) |
| Fu-ge賞 | | 数点 | 3万円(旅行クーポン券) | 別途、建て主様に1万円(旅行クーポン券) |
| リフォーム賞 | | 数点 | 3万円(旅行クーポン券) | 別途、建て主様に1万円(旅行クーポン券) |
| 公共建築賞 | | 数点 | 3万円(旅行クーポン券) | 別途、建て主様に1万円(旅行クーポン券) |
| ニチハ賞 | | 約30点 | | 記念品を贈呈いたします。 |



TOPICS and MORE

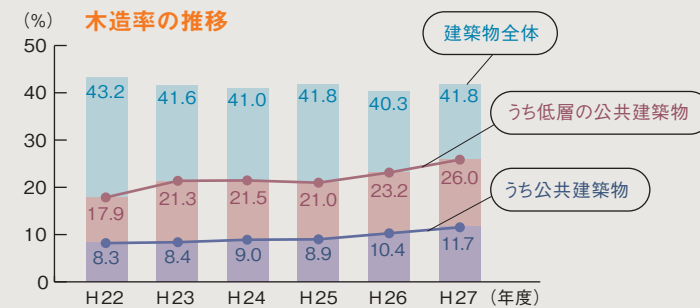
公共建築物の木造化をさらに加速 木材利用促進法の基本方針を見直し

林野庁が「公共建築物における木材の利用の促進に関する基本方針」の一部改正を行う。今年5月23日まで一部改正案のパブリックコメントを行い、間もなく告示の予定だ。(6月8日時点)

平成22年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律(木材利用促進法)」が施行、その後の取り組み状況の点検結果などを踏まえて見直しを行ったものである。CLTや木質耐火部材などの新たな木質部材を積極的に活用していくことを明記し、公共建築物の木造化を加速していく。

低層高層建築物の木造率 H32年までに3割超えを目指す

木材利用促進法は、国産材の有効活用などを目的に、3階建て程度の低層の公共建築物について原則、すべて木造化することを定めている。この法律を受け、国は具体的な木材利用の取り組み方針などを「公共建築物における木材利用の促進に関する基本方針」としてまとめた。また、各自治体も、2012年までに47都道府県すべ



注:「建築着工統計調査平成27年度」(国土交通省)のデータを元に林野庁が試算

てが基本方針を策定、2016年末で1534の市町村(全体の88%)が基本方針を策定している。こうした取り組みにより、低層の公共建築物の木造化が進んだ。平成22年度の木造率は17.9%であったが、平成27年度は26.0%にまで高まっている(表)。

今回の「基本方針」の見直しは、こうした動きにさらに加速をつけ

新木質部材も積極的に採用 市場拡大に期待

「基本方針」の見直しのポイントは表の通りである。

地方公共団体に対し「措置の実施状況を定期的に把握し、課題を分析し、必要に応じ方針を変更するように努める」「関係部局横断的な会議の設置に務める」と、地方公共団体にさらなる取り組みの加速を求めている。

また、木造住宅の耐用年数について「劣化対策などを適切に行うことで長期にわたり利用が可能であることを考慮」と規定したことも木造建築の普及の追い風になる。

見直しのなかで特に注目されるのが「CLT等の新たな木質部材の積極的活用の観点からの見直し」である。

近年、CLTや木質耐火部材などの技術開発が進み、木造建築の可能性を広げる新たな木質部材として注目を集めている。

「公共建築物における木材の利用の促進に関する基本方針」の一部改正 見直しの主なポイント

(1) 法施行後の取組状況の点検結果を踏まえた見直し

- 国は、木材利用の促進に資する有益な情報や優良事例などを取りまとめ、地方公共団体に対し共有する旨を規定。
- 地方公共団体は、都道府県方針又は市町村方針に基づく措置の実施状況を定期的に把握し、課題を分析し、必要に応じ当該方針を変更するよう努める旨を規定。
- 公共建築物の整備を検討するに当たり、木造の耐用年数は非木造に比べ短い、劣化対策等を適切に行ったものは長期にわたり利用が可能であることを考慮する旨を規定。

(2) CLT等の新たな木質部材の積極的活用の観点からの見直し

- 国又は地方公共団体は、CLTや木質耐火部材等の新たな木質部材について活用を促進する旨を規定。

(3) その他法律の制定及び改正を踏まえた見直し

- 平成26年6月の建築基準法(昭和25年法律第201号)改正により、3階建ての木造の学校等について、一定の防火措置を行うことで準耐火構造等で建築が可能となったため、国又は地方公共団体は、当該学校等の建築を促進する旨を規定。
- 公共建築物に利用される木材を供給する林業従事者、木材製造業者等は、合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律(平成28年法律第48号)に基づき、合法伐採木材等の円滑な供給の確保を図る旨を規定。

こうしたことを踏まえ、基本方針にそれらの活用を明記した。具体的には、「建築物における木材の需要の拡大のため、CLT(直交集成板)や木質耐火部材などの新たな木質部材の活用を促進するものとする」という一文が追加された。

こうした木質部材を活用することで木造率をさらに高めることができると期待している。

また、防火に関しても見直しも注目される。平成26年6月の建築基準法改正により、3階建ての木造の学校等について、一定の防火措置を行うことで準耐火構造等で建築が可能になった。これを受けて基本方針では、当該学校などの建築を促進する旨を明記した。

木材利用促進法は、その名称の通り公共建築物における木材利用を促すものであるが、同法施行を一つのきっかけとして木造建築があらためて注目を集めていることは間違いない。新たな木質部材を積極的に採用することは、その市場拡大を促す。公共建築における動きは、民間における木造化の流れを加速することにつながりそうだ。

火措置を行うことで準耐火構造等の建築が可能になった。これを受けて基本方針では、当該学校などの建築を促進する旨を明記した。

木材利用促進法は、その名称の通り公共建築物における木材利用を促すものであるが、同法施行を一つのきっかけとして木造建築があらためて注目を集めていることは間違いない。新たな木質部材を積極的に採用することは、その市場拡大を促す。公共建築における動きは、民間における木造化の流れを加速することにつながりそうだ。

『CLTと木質系セメントボードの
国産材トリプル構造による建築物の強靱化』が
ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2017

初代国土強靱化担当大臣(古屋圭司)賞を受賞



ジャパン・レジリエンス・アワード
2017

ジャパン・レジリエンス・アワードとは

安倍内閣が提唱する国土強靱化の実現に向けて創設された表彰制度です。

CLT建築物に国産材を使用した弊社の木質系セメントボードを外装とその下地に使用し、外壁部分を木材のトリプル構造にすることが、建築物のレジリエンス性を高める取り組みであると、高い評価を受けました。

※CLTとはCross Laminated Timber(クロス・ラミネイテッド・ティンバー)の略で、ひき板を繊維方向が直交するように積層接着した大判パネルです。欧米を中心にマンションや商業施設などの壁や床として普及しており、国内においても新たな木質構造用材料として注目されています。

ジャパン・レジリエンス・アワード

3年連続受賞

2016年
最優秀レジリエンス賞(住宅・建築)受賞

『オフセットサイディングを利用した
公共建築物の価値向上に向けた取り組み』

2015年
優秀賞受賞

『ニチハエコ外壁プロジェクト』

ニチハ株式会社

名古屋市中区錦二丁目18番19号
三井住友銀行名古屋ビル
TEL(052)220-5111
編集/ナビユー編集室

ホームページアドレス

<http://www.nichiha.co.jp/>

編集後記

毎日お世話になっている洗濯機や冷蔵庫、TVや炊飯器などの家電がそろそろ15年選手のわが家。壊れるまで、動くうちはもったいなくて使い続けたいと思いますが、どうやら、家電の省エネ性能は昔に比べ格段に向上しているようで。古い家電を使い続ける方がかえって「もったいない」こともあるようです。10年前の製品との電気代や消費電力量、CO2排出量の削減効果の比較が簡単にできるアプリもあるようなので、まずは調べることから始めてみようと思います。

さて、今年もNICHIIHA SIDING AWARDを開催中です。締切りは8月10日(木)までです。皆さまからのご応募をお待ちしております。(T)